

## 奥津軽虫と火まつり親善大使



親善大使、青年会議所の皆さん

6月17日に開催された「奥津軽虫と火まつり（五所川原青年会議所主催：宮崎敬也理事長）」をPRし、次世代に継承していくことを目的に任命された親善大使の皆さんが6月9日市長を訪問しました。

親善大使に任命された学生の皆さんは、まつりPRの他、小学生への紙芝居の読み聞かせやたいまつ製作体験、まつりへの運営スタッフとしての参加など、活動内容を報告しました。

また、坂本実行委員長は「親善大使の活動を行うことで、次世代を担う子どもたちに活動を伝えることができた。今年で45回目の開催となるが、この先も親善大使活動を続け、まつりを継続していきたい」と意気込みを話しました。

## 本州最北の転車台30年ぶり復活



30年ぶりに復活した転車台

5月21日、津軽鉄道(株)が所有する本州最北の転車台が津軽中里駅構内に30年ぶりに復活しました。転車台は、列車を回転させ、進行方向を変える設備であり、昭和初期に作られた大正時代の型で、ラッセル車の利用停止に伴い放置されていました。この度、津軽鉄道サポーターズクラブが地域振興に役立てようとクラウドファンディング（インターネットでの資金調達）を活用し、復元に掛かる整備費を募ったところ、県内外から185万8000円の善意が寄せられました。

式典後、転車台中央にラッセル車が汽笛を鳴らして、乗り上げると、会場からは大きな歓声上がり、寄付された方々や子ども達が、ラッセル車の乗車体験や手押し体験をし、大いに盛り上がりを見せました。

## 青森県立高等学校教育改革推進計画第1期実施計画(案)に対する意見書を提出

4月26日、青森県教育委員会から「青森県立高等学校教育改革推進計画第1期実施計画(案)」が公表されたことから、市では5月29日に意見書を提出しましたので、その概要をお知らせします。

▷五所川原工業高等学校は、西北五地域唯一の工業高校として有為な人材を多数輩出し、わが国の「ものづくり」に大きく貢献してきた。過去2年間の志望倍率も高く、中学生の進路選択の面からも非常に重要な高校である。計画案の「情報技術科と電子機械科の統合」による学科減は、学校の特色や活力が失われかねず、地域産業を支える人材育成および高度な工業教育の確保という観点からも再考を願う。

▷金木高等学校は地域社会と密接に関わり、地域振興のためにも無くてはならない存在である。計画案の実施により、将来、津軽半島北部から高校が無くなることや地域の活力低下が危惧される。地域住民からも通学環境の悪化による負担増や、閉校が地域衰退に繋がることへの不安の声が高まっている。そのため、第1期実施計画期間での各学校の入学状況等を勘案し、第2期実施計画期間(平成35年度以降)の学校規模や地域校について改めて検討を行うなど、急激な学校統合を行わないよう要望する。

▷地域の活性化に影響をおよぼす急激な統合や学科改編を住民は望んでおらず、今後も住民への丁寧な説明と、地域の実情へ配慮した慎重な対応を求める。

◎広報有料広告

立佞武多の館6F  
展望ラウンジ 春楡

# 花火大会大観覧会

バイキング  
飲み放題付

8月3日(木) 19:30~  
花火大会終了まで(開場18:30)

●大人:4,500円  
●小人:2,000円(3歳以上小学生まで)

完全前売制  
先着100名様

販売期間:7月1日(土)のみ限定販売  
(販売時間9:00~19:00) \*但し、定員になり次第締めさせていただきます。

\*1度のお申し込みで10名様まで。同一申し込み者による複数申し込みはお受け致しません。  
\*現金にて、立佞武多の館受付カウンターへお申し込み下さい。  
\*お電話、FAXでのお申し込みはお受け致しません。  
\*お支払い時にお席の抽選をおこないます。

早朝からお並びいただくことはご遠慮ください。

立佞武多の館 (お問合せ) TEL:(0173) 38-3232

五所川原市を応援します!!